

★最低賃金 25 円アップ、平均時給 823 円

2016 年度の都道府県別最低賃金が出そろった。全国平均は 25 円高い時給全国平均 823 円で、全都道府県で初めて 700 円を超えた。地方でも人手不足は深刻で、最低賃金を引き上げてもなお人材確保に苦戦。

地域ごとの最低賃金(引き上げ額) (円)			
北海道	786(22)	滋賀	788(24)
青森	716(21)	京都	831(24)
岩手	716(21)	大阪	883(25)
宮城	748(22)	兵庫	819(25)
秋田	716(21)	奈良	762(22)
山形	717(21)	和歌山	753(22)
福島	726(21)	鳥取	715(22)
茨城	771(24)	島根	718(22)
栃木	775(24)	岡山	757(22)
群馬	759(22)	広島	793(24)
埼玉	845(25)	山口	753(22)
千葉	842(25)	徳島	716(21)
東京	932(25)	香川	742(23)
神奈川	930(25)	愛媛	717(21)
新潟	753(22)	高知	715(22)
富山	770(24)	福岡	765(22)
石川	757(22)	佐賀	715(21)
福井	754(22)	長崎	715(21)
山梨	759(22)	熊本	715(21)
長野	770(24)	大分	715(21)
岐阜	776(22)	宮崎	714(21)
静岡	807(24)	鹿児島	715(21)
愛知	845(25)	沖縄	714(21)
三重	795(24)	全国平均	823(25)

★働きやすさ情報 ネットに

厚生労働省はどの企業で女性が活躍しているかや、有給の取得率が高いかといった「働きやすさ」が一目でわかる数万社規模のデータベースを2018年度中に開設する。

サイトのイメージは・・・

〇〇社(所在地など)	
女性活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・役員・管理職に占める女性の割合 ・男女別の育児休業取得率 ・採用数に占める女性の割合
若者の就労促進	<ul style="list-style-type: none"> ・35歳未満の社員の離職者数 ・メンター(指導者)制度の有無 ・社内研修制度の内容
残業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の平均残業時間、36協定の内容 など

★許可なく宿日直させる

千葉県と埼玉県の複数の県立病院で、労働基準監督署長の許可を受けないまま、医師や看護師に宿日直させていたことが明らかになった。

医師などに宿日直勤務を行わせる病院は、所轄監督署から許可を得なければならないが、千葉県立の6病院はいずれも開院以来許可を受けていなかった。

宿日直許可は、宿日直勤務と通常業務の区別が不明確だと認められない。具体的には、宿日直の許可基準として「病室の定時巡回、異常患者の医師への報告あるいは少数の要注意患者の定時検脈」など軽度の業務に限定している。夜間や休日に通常業務を行うためには、交代制勤務などを導入する必要があるが、人手不足により態勢が整わない病院が少なくない。

千葉県の6病院も人手不足から交代制を導入できず、宿日直勤務者が救急医療などの通常業務を行わざるを得なかった。千葉県病院局は無許可で宿日直が行われていることを以前から把握しており、今年5月にはがんセンターが労基署の立入調査を受けていた。

★妊婦用の作業服

女性にとっては嬉しいニュースです。鉄鋼大手の神鋼が妊娠中や育児中でも女性が働きやすい職場の環境整備として、妊婦向けのマタニティー作業服を導入する。女性社員の採用を増やしていることから「鉄鋼女子」が安心して働けるようにする。見た目は現行の作業服とほぼ同じだが、妊娠に伴って変化する体形に対応できる。

製造現場でも女性の採用を増やしており、現場で活躍する妊婦も増えるとしている。



金木犀